

1 交通渋滞対策

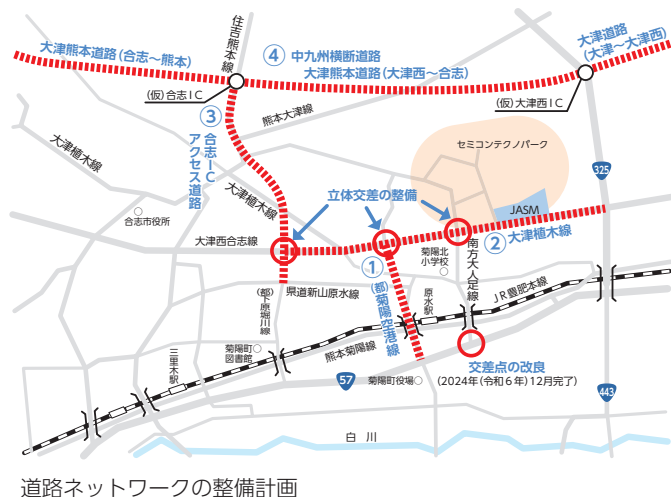
従来から課題であった交通渋滞に対応するため、「道路ネットワークの整備」と「公共交通ネットワークの構築」を両輪に、交通渋滞の緩和に向けて取り組みます。

○道路ネットワークの整備

世界的半導体企業の進出によって新たに創設された国の交付金を活用して、国や県とも連携しながら、過去に例を見ない速さで道路ネットワークの整備を進めています。

- ①菊陽空港線の延伸(令和8年度完成予定)
- ②大津植木線の多車線化(令和10年度完成予定)
- ③合志ICアクセス道路の整備(令和10年度完成予定)
- ④中九州横断道路の整備(早期完成目指す)

また、時差出勤やフレックスタイム制の導入による通勤時間の分散など、企業とも連携したソフト面の対策も進めています。



道路ネットワークの整備計画

○公共交通ネットワークの構築

令和7年3月に策定した「菊陽町地域公共交通計画」に基づき、鉄道周辺の二次交通の充実を図ることで、JRを軸とした公共交通ネットワークの構築に取り組みます。



巡回バス「キャラッピー号」

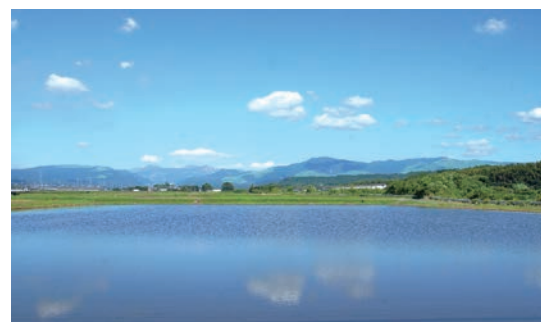


セミコン通勤バス

2 地下水の保全・涵養

隣接する自治体や関係団体と連携して、白川中流域での地下水涵養などに取り組みます。

- 水田湛水や、水稻の作付け拡大の推進
- 営農によらない涵養の実現に向けた取り組み
- 竜門ダム(菊池市)を水源とする有明工業用水の未利用水の活用に向けた検討 など



上津久礼の水田

3 多文化共生の推進

外国人の転入者が、地域社会の一員として安心して生活できるような取り組みを進めます。

- 外国人の日常生活をサポートする外国人相談窓口の運営
- 多言語に対応した様々な広報媒体による情報発信
- (仮称)国際交流協会の設立 など



外国人を対象とした交流イベント

新しい計画に基づきまちづくりに取り組みます 第7期菊陽町総合計画・菊陽町都市計画マスタープラン

第7期菊陽町総合計画

☎ 総合政策課 企画政策係 ☎096(232)2112

菊陽町都市計画マスタープラン

☎ 都市計画課 都市計画係 ☎096(232)4927

第7期菊陽町総合計画



菊陽町都市計画マスタープラン



町では、世界的半導体製造企業が町への進出を表明したことを契機とした、町を取り巻く環境の大きな変化に対応しながら、必要な施策を着実に進めるために、町の最上位計画である「総合計画」と、土地利用の方針を定める「都市計画マスタープラン」を3月に策定しました。

今月号では、その概要を紹介いたします。

なお、詳しい情報は、町ホームページで見ることができます。

第7期菊陽町総合計画

町では、令和3年11月に世界的半導体企業が町への進出を表明しましたが、これは、第6期総合計画では想定されていないことでした。

その後、町を取り巻く環境は著しく変化しており、行政の対応も大きな変化が求められています。そのため、計画期間の途中だった総合計画を見直すのではなく、新たに第7期総合計画として策定しました。

ここでは、その計画に掲げる基本施策や具体的な取り組みの中から、企業進出を契機としたさまざまな影響に対応するための施策を、施策特集として紹介します。

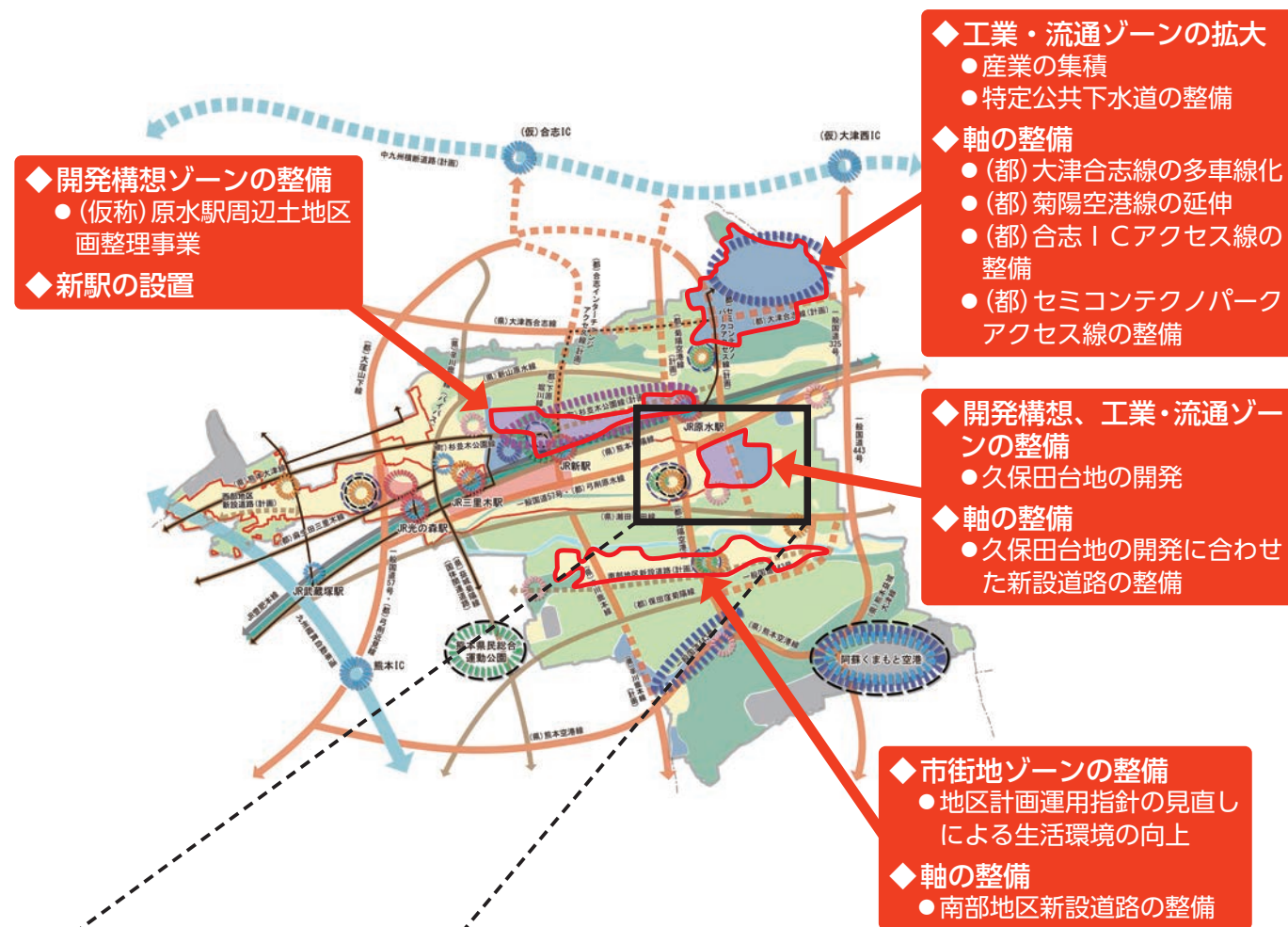


菊陽町都市計画マスタープラン

本町を取り巻く状況は、世界的半導体製造企業の進出を契機に経済活動が高まっており、さまざまな都市基盤整備の事業を進めているところですが、一方で、守るべき農地は引き続きしっかり守り、農業、工業、商業、そして住環境と自然環境のバランスが取れた「成長しつづける町。」として、持続的に発展する都市づくりを進めていくため、現在の都市計画マスタープランの基本的な考え方は継続した上で、部分的な見直しを行いました。

〈将来都市構想図〉

※将来の都市の骨格構造や土地利用を示すもの



- 今月号では、上記のうち、「久保田台地の開発」について紹介します。
- 久保田台地の開発では、まず、南北に通る新設道路の整備に着手します。本年度は、最適なルートや基本的な道路構造などを検討するための概略設計を行い、令和9年度の都市計画決定、令和10年度の事業化を目指します。
 - 次に、道路の東側地域については、新設道路の事業化後、農地などとの調整を行い「工業・流通ゾーン」として整備計画を進めます。ただし、セミコンテクノパークへの半導体企業の集積状況や、県が進める「くまもとサイエンスパーク」の動向を見極めながら、具体的な構想を検討します。
 - 最後に、道路の西側地域については、将来、市街化区域に編入することも視野に検討を進めます。しかし、その時期については、県が行う市街化区域見直しの手続きや、新設道路整備の進捗と合わせて取り組む必要があることから、令和12年度以降を想定しています。
 - なお、今年の夏頃をめどに、地域住民および地権者の皆さんに、事業計画などの説明会を行う予定です。

4 高齢者・子育て支援

企業進出の効果を町民の皆さんに還元するために、高齢者支援や子育て支援をはじめ、さまざまな施策に取り組みます。

○高齢者支援

- 紙おむつ購入などに対する支援
- 温泉入浴券の高齢者への配布
- 大学や企業とも連携した健康長寿プロジェクト など

○子育て支援

- 小中学校の給食費の無償化
- 保育所などの副食費への補助 など



介護予防教室に参加した高齢者

給食を食べる園児

5 バランスの取れた土地利用

令和7年3月に見直しを行った「菊陽町都市計画マスタープラン」に基づき、農業、商業、工業、住環境、そして自然環境のバランスが取れた豊かなまちを後世に引き継いでいきます。(詳細は次のページのとおりです)

6 農業・商業・工業の振興

今後、国内外から町に進出する事業者が増加していくことが見込まれるため、産業分野の垣根を超えた取り組みを進めることで、企業進出の効果を町全体、そして広域へと波及させていきます。

- 各分野における新規事業者の課題把握や事業の立ち上げ・展開に対する支援
- 新規事業者と既存事業者の連携促進に向けた取り組み
- 農地の保全や担い手の育成、確保
- 分野の異なる事業者との連携協力による6次産業化に向けた取り組み など



国の産地指定を受けている「菊陽にんじん」



光の森の商業施設



原水工業団地に立地した工場

7 新たな市街地整備

今後、増加が見込まれる定住人口や交流人口、関係人口に対応した取り組みを進めます。

- 西日本最大級のアーバンスポーツ施設「くまモンアーバンスポーツパーク」の整備(令和8年4月開業予定)
- 原水駅周辺の土地区画整理事業(約70%)では、新たにJRの駅を設置するとともに、「賑わい」、「知の集積」、「職住近接」の3つのエリアを設定し、半導体企業集積地にふさわしい先進的なまちづくりを進めます。



原水駅周辺の土地区画整理事業とくまモンアーバンスポーツパークのイメージ図